

令和元年度草の根文化無償資金協力
「室内管弦楽団楽器整備計画」供与式の実施

2021年2月11日、「室内管弦楽団楽器整備計画」(供与限度額:90,889米ドル)の供与式と記念コンサートがエレバン市の室内音楽国立センターで開催されました。

供与式では、山田淳在アルメニア日本国大使、アライク・フズマリャン教育・科学、文化・スポーツ省次官、ノライル・ナザリャン室内音楽国立センター監督が、来賓及びメディア関係者を前にスピーチを行いました。その後、山田大使とナザリャン監督がODAプレートをお披露目しました。

本プロジェクトでは、室内音楽国立センターの音楽活動を支援し促進するためグランドピアノ、大型打楽器、音響システム等の様々な楽器や音響機材(ヤマハ製)が同センターに供与されました。これにより、アルメニア国内に加え世界中からトップクラスの演奏家を同センターに招くとともに、国立室内管弦楽団の活動の幅を大きく広げる新たな可能性を切り開くものです。

供与式に続き、新たに届いた楽器と機材も用いて「日本の人々から」と題する記念コンサートが開催されました。冒頭、アルメニアにおけるヤマハ代理店代表のティグラン・アルシャキャン氏から本プロジェクトに対する謝意と祝意が述べられました。

コンサートの演目はJ. S. バッハの協奏曲第1番二短調 BWV1052 とビゼー(シチエドリン編曲)のカルメン組曲で、アルメニアの高名な指揮者のロベルト・ムルケヤン氏の指揮とスヴェトラナ・ナヴァサルジャン女史(ピアノ)の独奏により国立室内管弦楽団が美しい音色を奏でました。聴衆には複数の政府高官に加え、ティグラン・マンスリャン氏やロベルト・アミルハニャン氏等、アルメニアで最も高名な現代音楽作曲家も駆けつけていました。

終演後のレセプションでは、来賓と本プロジェクト関係者が互いに成功を祝しました。



山田大使によるスピーチ



フズマリヤン教育省次官によるスピーチ



ナザリヤン監督によるスピーチ



ODAプレートお披露目に際する
山田大使とナザリヤン監督との握手



アルメニアの国民作曲家ティグラン・マンスリアン氏と
山田大使



ナザリヤン監督による
グランドピアノのお披露目



指揮ムルケヤン、独奏ナヴァサルジャン、
国立室内管弦楽団員



ヤマハ製の打楽器群を駆使して
カルメン組曲を演奏する室内管弦楽団



聴衆の様子



供与したヤマハ製ティンパニ



(左から) フズマリヤン次官、山田大使、
ナザリヤン監督



山田大使とヤマハ代理店関係者